



【はじめに】

今春は熊本において4月23～24日、参加者27名で開催した。23日はソニー熊本TECとジェイデバイス熊本工場を見学した。24日は第17回SSISオープンゴルフ大会をくまもと中央カントリークラブで、史跡探訪は田原坂西南戦争資料館を見学した。

【4/23 午後:ソニー熊本TEC (呼称)】

- ・住所:熊本県菊池郡菊陽町大字原水 4000-1
 - ・社名:ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング株式会社
- 設立は2001年4月、最新鋭のCMOSイメージセンサーの工場が2棟ある。国内の7事業所を統括し、また全社の従業員は約9,200名(2018年4月)、売上高5,955億円(2017年3月期)である。



当日は弊協会の川西名誉顧問一行を、元社長の上田執行役員が東京本社からわざわざお出でになり出迎えて頂いた。記念撮影、工場概要・イメージセンサー説明、質疑応答、ウインドツアー、イメージセンサーデモと約2時間弱の見学会であった。

2016年のイメージセンサーの市場規模は約98億ドル(約1.1兆円)シェアはソニーがトップで45%、2位は韓国サムスン電子が21%(IHS調べ)と世界トップを独走中で、国内デバイスメーカーの主要デバイスでトップシェアの獲得は唯一の存在と言える。

試練の克服

2016年4月の熊本地震で工場が被災した。東日本大震災で被災したルネサス那珂工場の復旧ノウハウなどを学ばれ、同年9月には完全復旧した。会議室には**総力で試練を克服した熱い心意気**が掲げられていた。



『力を合わせた最速復旧！
見たか熊本TECの底力』

今後の展開

2018年5月の経営方針発表では、『CMOSイメージセンサーは、IoT、AI、自動運転等、今後発展が期待される領域におけるキーデバイスであり、当社がCCDの時代から長年培ってきたアナログの技術が競争力の源泉。イメージング No.1 を堅持することに加え、将来はセンシングでもグローバル No.1 を目指す。スマートフォン向けのセンシングアプリケーションから事業を展開し、車載センシングなどの新しいアプリケーションを育てていく』としている。

今後もこのイメージング・センシング分野において世界のリーダーを堅持されることを期待したい。

【4/23 午後:ジェイデバイス熊本工場】

本田技研熊本製作所が見学中止になり、急遽見学会をお願いしたところ、快く受入れて頂いた。

- ・住所:熊本県菊池郡大津町大字高尾野272-10
 - ・社名:(株)ジェイデバイス 熊本工場
- 三菱電機として1992年に操業を開始、ルネサスセミコンダクタ九州として2003年に設立されている。

ジェイデバイスセミコンダクタとして2013年に操業を開始、その後、米アムコアグループに2015年に併合されている。アムコア社は世界シェア2位のOSAT(Out Source Assembly and Test)である。(Trend Force調べ) 半導体後工程事業を軸にパッケージおよびテストプログラム開発から、組立・ファイナルテスト・出荷までの一貫受託モデルを提供している。また、全社の従業員は約4,500名で国内に12事業所がある。資本金は51億円である。

当日は玉田 信男 総務部長附他の皆様が出迎えて頂いた。工場概要・後工程説明、ウインドツアー、質疑応答、記念撮影と約1時間半の見学会であった。アプリケーションは車載向けが多いとのことで、コストと品質に厳しい業界である。特に日本でコスト競争力をどのように維持されているか伺ってみた。『設備や材料の購入がアムコア社として全世界レベルで調達しているのが、価格競争力を生み出している大きな要因』であるとのことであった。

ターンキーサービス・モデル



ジェイデバイスは、半導体製造において"後工程"と呼ばれるパッケージアセンブリ(組立)、ファイナルテスト(完成品検査)を軸に、多くの企業では"前工程"に分類されるウェハテストまでも手がけている、まさに『ウェハ製造後の工程はすべてお任せください』というスタイルの半導体サブコンです。私たちはこのモデルを「後工程ターンキーソリューション」と呼んでおり、これを活用することによりお客様の更なる競争力アップのお役に立てるものと考えております。国内で世界レベルの企業傘下で頑張っておられる姿に大きな声援を送りたい。



【4/24 :田原坂西南戦争資料館 見学】

日本最後の内戦 西南戦争で、3月4日~20日の17昼夜にわたる戦闘が繰り広げられた激戦地である。

山に屍 河に血流る
肥後の天地 秋淋し
右手に血刀 左手に手綱
馬上ゆたかな 美少年
雨は降る降る じんばは濡れる
越すに越されぬ 田原坂



熊本市田原坂資料より引用

JR 田原坂駅は丘の中腹にある無人駅である。電話で呼んでおいたタクシーに4人乗り込んだ。激戦地の付近を臨みながら、10分ほどで資料館に到着した。資料館に入ると想像していたより立派であり、皆驚きであった。鹿児島出身の A 氏は感激され、特に満足げの様子であった。



<ネットリソース一覧>

1. ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング株式会社
<https://www.sony-semiconductor.co.jp/>
2. ジェイデバイス
<http://www.j-devices.co.jp/>
3. 田原坂資料館
<https://kumamoto-guide.jp/spots/detail/216#pid=1>